

森づくり最前線

磐城森林管理署 原町森林事務所
地域統括森林官(原町・馬場・中村担当区) 野口 光三



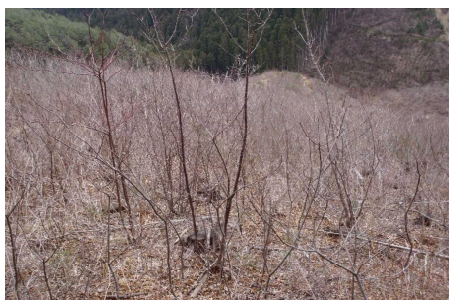
①治山事業で復旧している
海岸防災林(松川浦)



②地元小学校の全校児童による
植樹活動



③自然の再生力を活かして
森林再生を目指す海岸林



④伐採後5年以上が経過した
造林予定地

原町森林事務所は福島県の浜通り北部の南相馬市原町区萱浜にあり、海岸から約2.5キロ、東京電力福島第一原子力発電所の北方20数キロに位置しています。そこで私が管轄しているのは、南相馬市、相馬市、新地町と浪江町の一部で、平成23年3月11日の大地震によって様々な被害を受けました。

管内国有林のうち117ヶ所は海岸付近に点在しています。76ヶ所に及ぶ大洲国有林(松川浦)から、0.02ヶ所ほどの上ノ台国有林まで形態は様々であり、その多くが津波の被害を受けました。被害を受けた国有林は、海岸防災林のほか防災緑地や防潮堤など、様々な役割が期待・計画され、復旧が進められています。

海岸防災林では治山事業として盛土したうえで松くい虫の抵抗性を有する種子から育苗したコンテナ苗の植栽(写真①)を進めているほか、企業や団体と社会貢献の森の協定を締結して市民の力をいただいで植樹しているものや、地元の小学校の全校児童が毎年参加しての植樹活動(写真②)など、多くの方々に関わっていただく形で森林の再生活動が展開されています。

津波の被害を受けた海岸林のうち、比較的高台にある森林(写真③)では、奇跡的に残ったクロマツ・アカマツを母樹とし、自然に芽生えた稚樹を刈り出しすることで森林の再生を目指しています。広葉樹やマツの稚樹の発生状況、潮風の影響等を見ながら、きめの細かい手入れをしていきたいと考えています。

発行所 関東森林管理局
編集 総務課
TEL(027) 210-1158
FAX(027) 230-1393